

社会福祉法人育桜福祉会 生活ホームいくおう・中丸子

地域連携推進会議 議事録（公表）

以下の通り、地域連携推進会議を開催いたしましたので公表します。

開催日時	令和8年2月26日（木） 13時30分より15時30分まで	
会場	生活ホームいくおう・中丸子	
運営事務局 （4名）	生活ホームいくおう・中丸子 管理者 育桜福祉会法人本部 理事長、事務局長、総務課長	
参加者 （14名）	役割	立場
	入居者を代表する者	利用者 A
	利用者家族	利用者 B さん家族
	障害福祉に知見のある者	建築業者2名、他事業所職員
	地域の関係者	近隣住民9名
欠席者 （2名）	行政担当者	地域みまもり支援センター
	生活ホームいくおう・中丸子 サービス管理責任者	
議事内容		
<p>1 開会の挨拶（趣旨説明）</p> <p>初めに運営事務局より定刻で開会が宣言され、管理者より地域における居住の場であるグループホームは障害のある方の住まいとして日々の生活を支援している。暮らしの場であるが故の閉鎖性や密室性により、障害者虐待が起きやすい構造にあることも指摘されている。グループホームの生活の様子を地域の方に見ていただき、知っていただくとともに、障害者虐待防止の取組み、金銭等管理の仕組み、利用者からの苦情受付の仕組み、災害時への備えなどについてもご紹介することで開かれた事業所運営を目指していきたい旨の趣旨説明が行われた。</p> <p>法人理事長より、開所にあたっての経過、今後地域の一員として協力していきたい旨の説明が行われた。</p> <p>2 自己紹介</p> <p>運営事務局及び参加者が各自自己紹介を行い、管理者よりそれぞれの立場・役割についての説明が補足された。</p> <p>3 事業説明</p> <p>管理者より利用者が安心して生活するための仕組みとして備える虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の取組みを紹介し、続けて金銭等管理の仕組み、職員体制、職員との情報共有及び人材育成に関する事項について説明された。</p>		

4 事業所見学

管理者が事業所内を案内し参加者に見学していただいた。

5 質疑応答

近隣住民より火災への対応はどうなっているのかという質問があり、管理者より基本的に屋内外火気厳禁、全ての部屋に自動火災通報装置、スプリンクラーが設置されており定期的な防災訓練の実施と消防署の立ち入り検査が行われる、また、利用者が火を扱うことはない、ガスコンロはあるがIHコンロも導入している、火災の要因にならないよう日常の清掃が行われていることが説明される。

近隣住民Bより災害時の対応についての質問があり、水害、大規模災害、火災についての対応マニュアルの設置、行政への訓練計画の提出、非常食の確保、緊急連絡体制が整っていることが説明され、お手伝いできることは協力したいと提案がされた。また、建物に誰もいない時にどこに連絡すればいいのかという質問があり、管理者より緊急連絡先をお伝えし、どこかに緊急連絡先が記載されていると何かあった際の対応が早くなるのではと提案があった。

近隣住民Cより室内外の防犯カメラの設置有無について質問があり、管理者より設置されていないことが説明される。

近隣住民Dより思ったよりも建物中の音や声が外に聞こえてこないと感じがあった。

他事業所職員から公共交通機関が近く、生活しやすいため本人にも負担なくサービスが受けられていると感じがあった。

建築業者よりグループホームを想定した設計であったが、利用者が暮らしやすく、職員も勤務しやすい環境になっていることが分かったと感じがあった。

6 閉会挨拶

管理者より、多くの方が来所され貴重な意見交換の場となったことへの感謝を述べ、定刻で閉会した。